

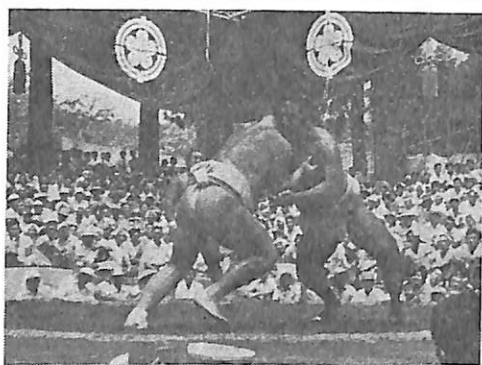
# 東京片貝会報

発行所  
東京片貝会  
東京都港区芝公園2-11-4  
電話 (433) 5925

## 二十年ぶり 大相撲に湧いた

### 浅原神社境内

輪島貴の花、若三杉一行  
百八十名の豪華番組  
長崎市で興行を了えた大相撲一  
行は、八月二十一日午後、バス五  
台に分乗して、町民一同の待つ片  
貝へ向かった。



駅前広場に出迎えた町の人々、  
近隣町村からも統々と黒山の様  
な人だかりとなった。勸進元の発  
した。

翌二十日は好天に  
恵まれ午前六時の太鼓  
の音とともに開場。角  
力場はご承知の通り、  
県下有数のりっぱなも  
のであり、町内は勿論  
近くの町々からの申込  
みも殺到してあり、場  
内はぎっしりと超満員  
の観衆で埋まった。  
テレビでは見られな  
い真に迫った妙技にた  
め息をついたり、熱烈  
な拍手を送って見入っ  
ていた。こうしてみん  
な夏の一日を楽しく過

ごした。  
昭和三十三年の夏に大相撲興行  
がかかってから、ちょうど二十年  
ぶりの催しであった。

### 浅原神社の修復工事 軌道に乗る

神社の社殿は、今冬の大雪で毀  
れたが、その修復工事の予算がこ  
のほど一千八百万円とぎまった。  
工事は来春から始められ、秋祭ま  
では竣功の予定である。  
なお、屋根は全部銅板がきにな  
るので、面目が一新されることと  
あろう。

## 花火きらめく秋祭り

### 三百年の伝統を誇る 好天に恵まれ盛況裡に終る

九日は朝から時折り雨が降って  
いた。町民は空を仰いで、今夜  
はどうなることかと案じていた。  
その雨が花火打ち上げ前にはヒ  
タリとやんで、町々は玉送りの笛  
や太鼓の音でございました。豊作の  
獲り入れの喜びを象徴するかのよ  
うに、浅原神社での木やり唄が高  
々とひびいた。恒例の小学生によ



る鼓笛パレード、相撲大会が祭の  
気分をいっそう盛りあげる。  
花火の数は、昨年の千三百発を  
更に五百発も大きく上回って揚げ  
られた。中でも庄巻だったのは、  
伸竹会(四十二歳)の十号玉四十四  
一発早打と続いて上がった二尺玉  
であった息もつかせぬ美しさは、  
町の話題のたねとなった。あまり

に見とれて、首すじが痛くなるほ  
どであったとか。  
三尺玉箱祥地を誇る、わがふる  
さとのそれは、九日、十日の最後を  
飾る見ものである。こう然と天空、  
一瞬美しい花を咲かせてくれた。  
かく待ちに待った秋祭りもま  
たの来る年まで静かに幕を閉じた  
なお、年次による奉納花火を打  
揚げたのは、つぎの通りである。

- 昭五会 還暦の人達
- 親和級友会 五十歳
- 伸竹会 四十二歳
- 白樺会 三十三歳
- 銀会 成人の人達
- 陽光会 一月二十日、おなじみ亀戸の升本で新年会を開催。当日は片貝からも六名の同級生が参加、出席者三十一名。陽光会では、毎年、月の第三日曜を定例日とし、会場も升本に定められている。
- 十三鶴会 十月十六日、上野東天紅にて、例年の東京支部同級会を開催。参加者約十五名。

## 同級会だより

### ○十二同級会

七月二十四日午前六時、観光バスで片貝を出発。フェリーで直江津より佐渡に上陸。相川にて一泊翌日は佐渡の名所旧蹟を見物し

## 東京片貝会の動き

お知らせ

・新役員を選出——役員任期が来ましたので、総会でのつぎのうに決まりました。現役員は全員留任(会長、三重堀繁蔵氏をはじめ副会長、会計、組織、青年部長、監査)更に相崎善次郎氏が副会長に、神林徳次氏が監査に、また藤原信、諸我時夫両氏が青年副部長に選ばれました。

・会費値上げ——本年より七百円に上げさせていただきました。会費以外にもご寄付いただきました方々が多くありました。改めて深くお礼申しあげます。

・新年会——昭和五十三年一月十九日、いつもの芝増上寺で開催の予定です。

・会旗のこと——戦前にあった会旗は、旗の生地がぼろぼろとなり、今壊れだけ残っています。機をみて新調できればと思います。「やせかまど」——郷土史の貴重な資料として注目されています。希望の方にお預けします。送料共一五〇〇円。

・新潟県人会との交流——月刊「新潟県人」に片貝会のことを紹介してもらいました。このほか小千谷会、三弘生会、小出会、松戸会とも交流ができました。

て、新潟港より帰還。参加者二十七名(内八名は東京より参加)

### ○十三年会

六月十一日、全員が上野駅に集合して、観光バスに乗り、成田山新勝寺を参拝。まだ開港されていない成田空港のホテルに一泊。新空港を見物して、翌日は東京都内観光。靖国神社、明治神宮を参拝、日劇で音楽鑑賞、王アラサホテルで世界料理に舌鼓を打った。参加者五十一名(内二十名は東京より)

### ○和光会

十月二日、新宿駅に集合して、ロマンスカーで箱根湯元温泉一泊。翌日は観光バスで箱根を周遊して、熱海に下り帰京後解散。参加者三十五名(東京より十五名)

### ○緑友会

十月二十二日、上越線上坂駅に集合して、上坂温泉に一泊。恩師白井、清水、吉田三先生を招待して懇親。参加者六十名の見込み(内東京より三十名)

こんなに多くの

# 片貝人ここにどうぞ

## 第18回東京片貝懇親総会6月5日(日)

今年も文京区民センターで朝からよい天気だった。正午受付開始というのに、その前からほつぽつ出席される方があり、会場の設備係も汗だく。昨年の経験から、年次別に席を設けたが、相互の交流、連絡に役立ち、遅れて見えた方にも、好評だったよ。

### 総会

定刻一時に開会。黒崎正さんのまことに歯切れのよい綿密な司会

で手際よく進められる。まず、片貝中学校の若い音楽担当の小田島先生のアコデオン伴奏による「ふるさと」(鬼追いし...)を全員で合唱して開会となる。年間事業報告を兼ねて会長の挨拶の後、会計報告、役員改選が別掲の通り承認された。続いて、遊路わがわがお越しいただいた郷里の来賓などの祝辞をいただく。ついで全員で「あさんの歌」を合唱して無事終了した。

高まる交歓、懇親の渦



会場を埋め尽した総会の賑やかな風景

名誉会長安達電作さんの首領で乾杯して、懇親会は開始された。会員有志による自慢の歌と踊りはいつもながら楽しい余興であるが、特に耳目を惹いたのは、いつも他の追従を許さぬ能沢さんの演技である。また、平石さんのお世話による「ジョンガラ節」の演奏であった。片貝農協の友田明石さんがお得意ののどを披露してくださり、みんなの喝采をうけた。

なんといつても当日の庄巻は、玉送りのしゃり演奏と木遣り唄である。太鼓は近隣の影響から遠慮してほしいというのを、特に許可を得て演奏したのだった。あの朗々たる響きを聞いて、東京片貝人は、みんな生まれながらのふるさと人になったのだった。楽しい時は、とめどなく続いたが、すでに五時にも近くなっていて万才三唱とともに閉会となる。

### 総会を省みて

昨年に続き、本年は米菓と羊かんの即売を実施した。なつかしいふるさとの味をかみしめるようにたいへんな売れゆきであった。私もこれが総会を運営するようになって、これで三回目であるが、役員や青年部の皆さんの積極的な協力によって、すべてが順調に

進行したことを感謝しています。しかし、余興を申込まれた方々、連絡不十分だったこと、お茶の準備がなかつたこと、などなど、ご不満も多々あつたようで、反省しています。

星野小千谷市長さんが急用のため、出席いただけなかったのは残念だった。また、若い層はふえてはいるが、またまた私達の努力が足りないようです。今後もみなさんのご協力を切望いたします。



### 当日の来会者

(二〇三名) (敬省略)

### 来賓

助役柄沢栄夫、恩師本田寅一郎、浅田保、山内敬二、箕輪みね、小学校長片桐禄郎、中学校長藤田英雄、中学校小田島栄重、市議本田善治、文化財委員長浅田壮太郎、郷土史会長吉原芳郎、同窓会副会長山口恒、同役員友田明石、商工会丸山良平、特別会員大乃川太郎、小千谷会長荻野虎吉、新潟県人会南雲一雄、  
会 員 (小学校卒業年度順)

- ・明治1高野三郎、丸山フジ
- ・大正2〜10年
- 安達市郎、太刀川藤吉、丸山貴司
- 吉原岡治、相崎政弘、高橋ミサ、大矢修一、品田軍治、安達電作、南雲吉松、吉原十ウ、藤塚太郎、高桑キイ、佐藤正雄、安達豊子、広瀬ハナ、黒崎セキ、広井三代次、丸山松江
- ・大正11〜12年
- 長谷川江津、渡辺左武郎、小野塚イシ、小林倉三郎、三重堀繁蔵、水内修治、相崎尚次、神林徳次、和田力子、加藤キヨ、安達道宗、清水六郎、大矢福次、佐藤量八、内山菊栄、石黒ミス、安達宗彦、能沢敬次、黒崎次郎、安達政次郎、大塚たけ、山口富次、中村ヒサ
- ・昭和2〜19年
- 山口よし、本田政秀、日下部政子、小川茂雄、中江ミツ、浅田喜八郎、松井重治、相崎勇次、小野塚マツ、小宮孝作、小林敬司、山田セシ、吉井武一、細野キク、安達武、佐藤又次、浅田鉄二、相崎善次郎、佐藤フミ、小林政治、藤田睦子、山口三郎、丸山春、芋川とし、馬場キイ、黒崎孝造、勝又 功、大林健次、安達幸一、青柳弘子、大矢幸治、大南ヤイ、平石ふみ、藤塚勝次、佐藤彦一、芝三四司、丸山 茂、奥田佳子、高橋千代子、武藤睦子、豊田チヨ、山口武郎、吉原菊江、堀井豊作、豊島文江
- ・昭和11、20年
- 吉原武次、高橋四郎、山口福次、小宮英夫、安達保治、高野昭一郎、本田謙作、浅田鉄夫、太刀川善蔵、丸山恵次、内藤キヨ、横見キミ子、山田チエ、大矢常吉、山口吉五郎、藤塚吉雄、横山カウ、黒崎和一郎、相崎ヨシ、丹治きみ、石原ミツ、

**割烹 升本**  
塚本美恵子 (昭和13年卒)  
江東区亀戸4-18-9  
TEL (685-0875-6)  
同級会や諸会合に会員の皆様にご利用  
いただいています。今後ともよろしく。

**山口材木店**  
山口三郎 (昭和5年)  
神奈川県箱根町強羅1320  
TEL (0460-2-3536~7)  
強羅に片貝のしゃぎりを紹介して毎年  
演奏・喜ばれています。

**たちかわ洋品店**  
**たちかわ寝具店**  
太刀川鉄三郎  
(小学校大正9年卒)  
町田市能ヶ谷町70  
0427-35-3405

佐藤敏雄、新明セツ、山田美代治  
 佐藤道雄、飯塚洋子、藤田ミツ子  
 吉田良子、松下利夫、佐藤昭六  
 吉井寿、小宮幸雄、金井ヨシ子、  
 友田正雄、小宮きよ、小野塚洋二  
 清水ミイ、谷口ミヨ、五十嵐貞雄  
 ・昭和21〜30年  
 横山信次、安達和三、阿部修次、  
 安達弘男、相崎富代、新野次郎、  
 横山栄治、神林勝夫、小宮としえ  
 神林佳子、小倉和江、五十嵐キヨ  
 相崎達一、本田幾男、児島良子、  
 大塚順一、橋 正、黒崎 正、  
 小野塚茂、山崎 雄、浅田好司  
 中野一恵、深野敦子、山口八重子

高橋一郎、大平アイ、安達 敏  
 吉原 勉、藤塚治治、吉原 宏  
 荒木ムツ、本田繁雄、吉井武次  
 黒崎 勝、黒崎敏雄、小倉セツ子  
 吉井 均、山崎英輔、吉井ミチ子  
 小野ひろ子  
 ・昭和31〜40年  
 藤塚 悟、黒崎昭二、芝 満男、  
 浅田達夫、諸我時夫、吉井信三、  
 黒崎修二、工藤イソ、相崎俊夫  
 五十嵐喜好  
 ・昭和45年  
 吉井朱実、佐藤百合子  
 吉井チイ(卒年不詳)

### 予告 今年もヤングの集いを

ご参加をお待ちしています！  
 第2回 ご案内青年部主催で

広い東京関東に散らばって、  
 忙しい毎日を送っているお互いで  
 す。時には一堂に集って、若者た  
 けで故郷の話をしようではありませんか。

母校や友の動静を語りあうこと  
 も楽しいことです。更に将来の希  
 望や悩みごとまで打ち明けられ  
 ら、もつとすばらしいと思います。

若いエネルギーをぶつけあって  
 一日を有意義に過ごしましょう。  
 詳しいことは、別紙ご案内の通  
 りです。誘いあって、ぜひお集り  
 ください。

一日時 11月20日(第三日曜日)  
 一会場 港区立赤坂小学校  
 (昨年と同じ会場)  
 一参加費 一〇〇〇円  
 食べて、飲んで、跳ねて、しゃ

べつて、笑って、楽しく過ごしま  
 しょう。

- こんど案内をした同級会
- 十九伸会 にれ会 つどい
- にし つぐみ つくし会
- 銀会 西戌会 船出会

### 教育感謝祭

毎年秋に行われる感謝祭は本年  
 も十月二十七日(木) 仲使山 遊  
 山台で執行される。雨天の際は、  
 一回参拝の後、浄照寺にて法要、  
 記念講演、懇親会が催される予定  
 である。本年は第六回目。

### 第1回若人の集い

卓球、バドミントンなど  
 みんなで楽しい一日を送る  
 昭和51年11月23日(勤労感謝の日)

うす曇りの空は、やや肌寒さを  
 おぼえるほどだった。

青年部や役員で、会場準備も終  
 った頃、若いみなさんは方々から  
 参会して来られた。片貝中学より  
 お出でを願っていた鐘水、毛利岡  
 先生も到着され開会となる。

自己紹介の後、しばらく懇談に  
 移る。籠球全国大会の思い出話、  
 職場や学校のこと、片貝の近況、  
 将来の進路など尽きることもな  
 い。

相互の交流が一段落したところ  
 で、こんどは球技を楽しむ。バド  
 ミントンと卓球には、優勝トロフ



イが出るであって、一段と熱気が  
 加わってきた。籠球は母校伝統の  
 球技とあって、腕を揮っている人  
 もあったが、相憎コートが不備の  
 ために、試合をするまでに至らな  
 かったのは残念であった。

ひと汗も、ふた汗もかいたとこ  
 ろで会食にうつる。みんなはすつ  
 かり打ちとけあつて、飲み且つ食  
 べた。記念撮影の後、鐘水先生か  
 ら「きょうの催しを学校に帰った  
 ら君達の後輩に伝えなさい。片貝会  
 に見守られている君達はほんとに  
 しあわせ者です。元気で頑張って  
 ください……」

心温まる先生のこと  
 ばを、みんなは強く心  
 に噛みしめながら、夕  
 暮れ近い頃、それぞれ  
 散会した。

この催しは、なにし  
 る片貝始まって以来の  
 計画だったので、準備  
 には人知れぬ苦労と時  
 間がかかった。しかし  
 計画推進に当って寄せ  
 られた母校中学校をは  
 じめ、青年部、役員一  
 同に厚く感謝申しあげ  
 ます。

青年部、役員を除い  
 て、当日参加くださった  
 方々は次の通り  
 つどいー相崎俊夫



にじー阿部久子、西沢 薫  
 つくし会ー藤塚 弘  
 銀会ー安達祐子、吉井友子  
 西戌会ー神林静子、佐藤百合子  
 風間作治、相崎恵子、  
 友田幸夫、吉井朱実、  
 神林八重子

### ふるさとだより

保育所が開園  
 施設のりっぱなことで県内随一  
 との評判。園児が二百余名おり  
 町の人々に喜ばれている。

### 簡易水道工事はじまる

水道誘導運動をはじめから六  
 年目にして、漸く着工の運びとな  
 った。完成はあと三年かかるとい  
 う。水源は信濃川の五辺より。殆  
 ど全町民が申込んであるという。

### 浅原神社と角力場

いまの神社の社殿ができたのが  
 百八十年前で、三年後に角力場も  
 できた。

### 浅田電気工業

電設・電力設計工事

浅田好司 (昭和24年卒)

北区田端2-3-2

TEL (822-9461)

### 大塚呉服店

趣味のきもの

大塚順一 (昭和22年卒)

品川区戸越6-10-8

TEL (782-7915)

### 新橋やぶそば

黒瀬良子 (旧姓安達) (昭和31年卒)

港区新橋5-27-3

(431-4771)

ご来店をお待ちしています。

# 新年の集い

## ことしも増上寺で賑やかに

去る一月三十日、芝増上寺の西館大広間で、好例の新年会を開催しました。案内範囲は、これまで



総会にご出席いただいた方々を中心にしてお出でしたが、例年になく多数のご出席があり、大変盛会でした。約百二十名。

黒崎正さんの明快な司会で開会新年の挨拶の後、懇談に移り、のど自慢や芸達者な数々の余興に、拍手が湧き上がり、いっそう賑やかとなりました。

いよいよお待ちかねの

ねの福引きが開始され、ため思やら、拍手やらで場内も割れんばかり。

当日は、十一月に開いた「若い人を励ます会」に出席された、佐藤百合子さんと吉井朱実さんが、受付のお手伝いをしてくださいました。ほんとは嬉しいことでした。片貝会が老若共に相協力して、益々健全に発展してゆきましても感づられました。時が過ぎ、舞台いっぱいになり木遣り音頭がこたます頃、外も漸く昏くなり、名残り惜しくも散会しました。

来年も同じ会場で一月二十九日(日)に開催の予定です。どうぞ、多数のご参加を、今からお願ひ申しあげます。

## 新年会予告

|                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 収入 ¥ 1,860,685        | 支出 ¥ 1,860,685             |
| 352,266円 前年度繰越高       | 498,170円 51.6.6 (文京区民センター) |
| 500,000 総会費 2,500×200 | 51.11.23 (赤坂小学校)           |
| 74,000 同お祝い 19名       | 52.1.30 (芝増上寺)             |
| 30,500 若人を励ます会        | 15号 700部 報員簿 500部          |
| 1,500×16              | (150,850) 切手               |
| 500×13                | (6,000) 電話が                |
| 9,000 同お祝い 4名         | (49,630) 事務用品              |
| 360,000 新年会 3,000×120 | 会場、会費                      |
| 38,500 同お祝い 10名       | 小千谷、教育                     |
| 304,950 年会費及び寄付金      | 感謝祭、片貝中                    |
| 186,000 名簿広告料 46      | 式典、浅原社                     |
| 5,469 名簿銀行利息          | 写真、アルバム                    |
|                       | 現金・次年度繰越金                  |
|                       | 24,000                     |
|                       | 10,345                     |
|                       | 425,760                    |

昭和52年6月5日 上記の通り報告いたします。

上記の会計は適正且つ正確であることをご確認ください。

ご協力ほんとうにありがとうございました。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。

本年から年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。

の額だともとの声も多かった。お礼申上げました。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。今年も半ばひびきの年費を700円にさせていただきます。

とたき厚から6月5日通信費 ¥732,200 総収入 ¥499,280

## こんいちには

(会員訪問)

藤塚 悟さん

学校卒業後、上京して神田の電気店に就職したが、自分に不向きなのを知り、退職して技術習得に専念した。腕に自信を得て、独立して、電機器具の元型プレス工場を経営したが、火災に遭ったりして人知れぬ苦悩もあった。

最近奥戸に新工場を建設、従業員十余名でフル操業。誠実で努力家であり、これからの発展が楽しみである。同級会のせわもされてお、信望が篤い。会の青年副部長

堀井豊作さん

いまのお仕事(皮革、靴付属品主に合成皮革製造販売)を、堀井さんが始めたのは、終戦後の昭和二十一年であった。

その後会社組織にして、兄さんが就任されたが、九年前に亡くなったので、堀井商店の責任者となられた。

営業所、工場など三ヶ所があり従業員も五十名近い。このうち片貝出身者は十名もおり、後輩の世話にも力を入れておられる。年間の業績は十二億円というから、その発展ぶりが窺える。堀井さんの勝れた人からの反映と思ふ。

相崎善次郎さん

昭和七年に郷里を出て、講談社に就職、当時講談社は韓国にある金山の採掘に関係していたので、相崎さんは電気技師として韓国に渡った。その後振興が不振となり、帰国された。以後電気を利用した医療器械の研究に没頭した。

相崎さんが完成した「ナースイオン」は特に神経系統の恢復に卓効があるという。いま全国に十三の代理店を持ち、注文に応じきれないほどの活況である。昨年五月に立派な新社屋が完成、発展の一途をたどっている。会の副会長をこの度お願いした。

## 母校近況

### 片貝小学校

小学校では、教職員の異動が、一昨年度末(教頭・教務主任を含め)と昨年度末(校長を含め)とで七〇パーセントを越えて、新しい気運をもって、児童の教育に専念している。

『学習のめあてをつかませる導入段階の指導』をねらった研修では、研究授業を中心に実践を深めようとしている。ひとりひとりがしめのある生活ができるための指導の面では、当面、全校集会を節度ある、明るく豊かなものにするための教師による検討委員会を作つて努力している。一方で、子どもも参加してもらって、「片貝小学校児童のきまり」を作ろうとしての特設委員会を充足した。校外では、前任の植村校長、小

### 片貝中学校

九月一日、二学期の始業式のと校内水泳大会を防犯協会後援のもとに行いました。生徒たちは、学校の名誉と個人の名誉のため頑張りました。夏の暑いとき、生徒たちが水しぶきを上げて、一生懸命競うのは、見ても気持ちの良いものです。九月、十日の片貝祭りでは、学校も九日は午前中、十日は一日で放課でした。生徒たちは家に帰るとさっそく祭りはたいては着替え、笛、太鼓をたたいての玉送りの参加でした。一晩中笛を吹いていた生徒もいたよう

す。祭りは、皆様方も、きつと少年時代のなつかしい思い出として、今も故郷をしのぶ大きな原動力となつておられることと思います。

他に、一二期には、秋季運動会、遠足、写生大会、読書感想文発表会、作品展、マラソン大会と盛り沢山の学校行事が予定されております。皆様方にとつても、これらの中に中学時代のなつかしい思い出となつておられるものがあると思ひます。皆様方の脳裏に当時の思い出が浮び上つてくれば幸いです。

## あ と が き

皆さんのお力添えにより、片貝も少し成長してきたように思ひます。しかしすべて片貝仲間作業なので、なすべきことは数限りなくあるのに、思うようには捗りません。これからも皆様のご支援を切に望んでおります。どうぞよろしく